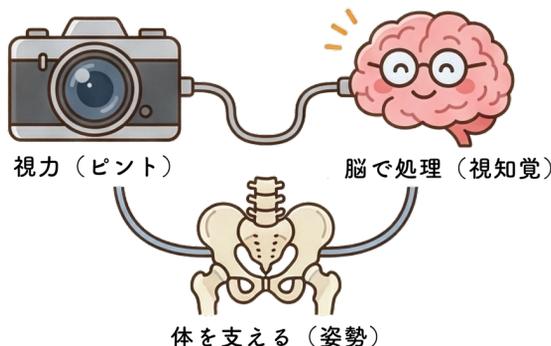


子どもの「学び」と見る力



～視力だけではわからない目の動きと体の使い方～

学校の検査で視力が良くても「板書が苦手」
「本を読むと疲れる」お子さんがいます。
これは目から入った情報を処理する「脳」や
それを支える「姿勢」に課題があるからかも!?



Point! 必要な3つの力

① 「何？」を見分ける力

○△□ め・ぬ

図形の形や文字の細かい
違いを正しく認識する力

(苦手なサイン)

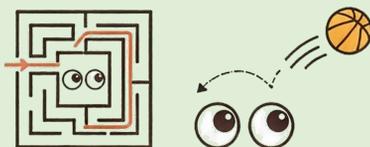


文字の
バランスが悪い



似た字を
間違う

② 「どこ？」を捉える力



動くものを追ったり
場所を把握する目の運動

(苦手なサイン)



行を飛ばして
読む



黒板の場所を
見失う

③ 目と手とカラダの連携



体が安定しないと
目も手元も狂います

(苦手なサイン)



マスから
はみ出す



姿勢が
崩れる



近くを見続けるには「寄り目」も必要になります。これを持続させる力がないと、
視力は良くても、文字がダブって見えたり、見るのにすごく疲れます。
結果「集中力がない」と誤解してしまうことも。。

お家や園でできる「サポート」



足が床につくと
目も体も安定!



集中時は目に
入るものを減らす



読む行に定規を当て
ガイドしてる

(参考)

Association of symptoms and convergence and accommodative insufficiency in school-age children. Effects of replicating primary-reflex movements on specific reading difficulties in children: a randomised, double-blind, controlled trial separate visual pathways for perception and action.